UTSUNOMIYA CONSTRUCTION WORKERS'

けんせつ宇都宮

CONSTRUCTION
vol.333
2025

【題字】 宇都宮市長　佐藤栄一 様

春風に疾る　写真提供：三正建設㈱　船見　佳正 様

一般社団法人 宇都宮建設業協会

会長あいさつ

新年度に向けて

一般社団法人　宇都宮建設業協会
会　長　　野　澤　充　広

皆様のおかげをもちまして、現在の執行部体制も２年目を迎えました。

改めて令和６年度を振り返りますと、５月の総会において新たな役員体制がスタートする中で、秋には、衆議院議員選挙、栃木県知事選挙並びに宇都宮市長選挙が行われ、皆様方の絶大なるご理解とご支援のもと、全ての選挙におきまして現職候補が見事に当選を果たされました。

一方で、昨年９月には、先の地震で大きな被害を受けた能登地方において、記録的な大雨により再び甚大な被害がもたらされるなど、私たち地域の建設業が担う、「地域の守り手」としての役割の重要性を改めて認識した年度でもありました。

そして、８月には、私たち地域の建設業が総力を挙げてその整備に取り組んできた宇都宮ライトレールが開業１周年を迎え、今年４月には、累計利用者数が 800 万人に達するなど、なくてはならない交通手段として定着いたしました。

地域における社会資本整備の担い手として、さらには安全・安心な地域の守り手としての役割を滞りなく果たすため、日々ご尽力されております会員の皆様方に対しまして、改めて敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

さて、日本経済は、雇用・所得環境の改善がみられる中、各種政策の効果により緩やかな回復の続くことが期待されるものの、物価の上昇や、アメリカの政策動向による影響などが、我が国の景気を下押しするリスクとなっています。

一方で、近年の気候変動の影響により、頻発化、激甚化している豪雨や台風の被害、さらには、近い将来発生することが想定されている南海トラフ巨大地震や首都直下地震等に対する事前防災・減災の推進、上下水道施設をはじめとする老朽化した社会インフラの再構築など、我が国にとって避けることのできない課題である、国土強靭化のさらなる推進が求められる中で、我々地域の建設業には、人々が豊かで持続可能な生活を営むために必要な社会生活基盤づくりの担い手としての期待が寄せられています。

また、建設業においても時間外労働の上限規制が適用された今、長年の課題である長時間労働の是正はもちろんのこと、さらなる働き方改革の推進や生産性の向上等を早急に進めることにより、建設業で働く人々や建設業を目指す若者が、夢と誇りをもって活躍できる、魅力ある職場づくりに取り組んでいくことが必要不可欠となっています。

今年度におきましても、引き続き不安定な社会経済状況が続くものと思われますが、地域社会を支える基幹産業として、諸法令の順守やコンプライアンスの徹底を図りながら、総合的な労働災害防止対策に一丸となって取り組むとともに、社会資本の整備はもとより、大規模地震や異常気象時の対応、さらには地域貢献活動など、地域に根差した活動を積極的に展開するとともに、県・市等の発注機関や関係団体とも連携・協調しながら、会員企業の健全で持続的な経営基盤を構築していくため、各種事業を積極的に推進してまいる所存でありますので、会員の皆様並びに関係各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げ、新年度に向けた挨拶といたします。

令和７年度　通　常　総　会

2025.5.21(水)

令和７年５月21日、ホテルニューイタヤにおいて、令和７年度通常総会が開催されました。

冒頭、野澤会長は「昨今の災害などで、私たち地域の建設業が担う、守り手としての役割を認識している。当協会も引き続き、地域を支える基幹産業としての地域貢献活動など、様々な事業を展開していきたい」と挨拶しました。

また、今年度は協会創立80周年を迎えるに当たり、記念事業実行委員会を立ち上げたことも報告しました。実行委員会は、委員長に㈱暁工務店の増渕薫社長が選出され、総勢15名のメンバーで進めるに当たり、増渕委員長は「80周年の記念すべき行事の実行委員長という大役を仰せつかり、大変恐縮している。しかしながら、記念事業が盛大に成功できるよう、委員と共にしっかりと進めていきたい」と延べ、11月の開催予定に向け、準備を進めていることも併せて報告されました。

続いて、特別功労・永年勤続役員・永年勤続委員表彰（受賞者は下記参照）の後、議事に入り、令和６年度の事業報告・収支決算報告、令和７年度の事業計画や収支予算案などを審議し、満場一致にて、原案どおり承認されました。

（鹿野雄久）

■本年度の主な事業予定

1. 建設業の技術の向上及び経営の改善に関する研修会の開催
2. 建設業に関する情報の収集及び提供並びに関係法令の調査研究
3. 災害時における緊急対応等住民支援活動の推進
4. 地域における建設業に関わる人材育成並びに就業支援事業の推進
5. 地域環境美化活動の推進
6. 社会、公益に貢献する団体等が主催する事業への協力及び助成
7. 子供や高齢者が安全で安心できる社会の実現に向けた活動の推進及び団体等の事業への協賛
8. 機関誌等の発行による地域社会に対する情報発信活動
9. 地域住民の安全確保のために行う建設工事安全パトロールの実施
10. 暴力団及び反社会的勢力対策のために行う普及啓発活動

菊池三紀男様

櫻井英治様

鹿野雄久様

令和７年度総会 表彰受賞者

１．表彰規程第３条第１号
（特別功労表彰・会長の退任）

前会長　　菊池三紀男 様《㈱菊地組》

２．表彰規程第３条第２号
（永年勤続役員表彰）

15年…… 櫻井　英治 様《㈱新生工業》
岩原　正樹 様《岩原産業㈱》

３．表彰規程第３条第４号
（永年勤続委員表彰）

20年…… 鹿野　雄久 様《鹿野建設㈱》

10年…… 石黒　靖規 様《小平興業㈱》
古橋　和樹 様《古橋土建㈱》

おめでとうございます

新任挨拶

とちぎの未来を築く県土づくりを目指して

栃木県県土整備部長　小　野　和　憲

この度、栃木県県土整備部長に就任いたしました小野でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃から本県の県土整備行政の推進について格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「地域の創り手・守り手」として重要な役割を担う建設業におかれましては、いわゆる2024年問題への対応などを含めた労働環境改善や、新たな担い手の確保・育成などへの取組がますます必要となっております。そのため、県では引き続き働き方改革に向けた取組や生産性向上に資するインフラ分野のDXを推進するとともに、人材確保に向けて各世代へ建設業の魅力を伝えるなど、建設産業の持続的な発展に向けて取り組んで参ります。

また、本年は「県土づくりプラン2021」の最終年度となりますことから、頻発・激甚化する大規模自然災害から県民の生命・財産・暮らしを守り、インフラの老朽化などの課題解決を図るため、社会資本整備の加速化を図って参りますので、一層の御支援・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念申し上げまして就任の挨拶とさせていただきます。

未来へバトンをつなぐ農業の実現を目指して

栃木県農政部長　廣　川　貴　之

この度、栃木県農政部長に就任いたしました廣川です。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃から県農政の推進、とりわけ農業農村整備につきまして、特段の御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本県の農業・農村は、担い手の減少や高齢化、気候変動による異常気象への対応など、様々な課題を抱えている中、県では「とちぎ農業未来創生プラン」の総仕上げとして、新規就農者の確保・育成やスマート農業の推進、園芸大国とちぎの実現などに取り組んでおります。

また、今年度は新たな農業振興計画の策定の年でもあることから、担い手が確実に収益を確保できる農業・農村の実現を目指して、本年3月までに策定された地域計画を踏まえながら、将来の担い手の確保・育成や農作業の効率化、生産性の向上等を盛り込んだ前向きで実効性の高い次期農業振興計画を策定し、未来へとバトンをつなぐ施策を展開して参ります。

これらの取組を着実に進めていくためには、農業の礎である生産基盤の整備が重要であることから、農地の大区画化や麦・大豆・露地野菜等の収量・品質を向上させる水田の汎用化などを推進するとともに、農業水利施設の計画的な長寿命化対策などに取り組み、農村地域の防災力強化を図って参ります。

貴協会におかれましては、引き続き当地域の農業農村整備の円滑な推進に向け、より一層の御支援をお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の御活躍を御祈念申し上げまして、新任の挨拶とさせていただきます。

県土づくりプランの総仕上げに向けて

栃木県宇都宮土木事務所長　高　山　　誠

この度、栃木県宇都宮土木事務所長に就任しました高山でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より県土整備行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和7年度は、栃木県における社会資本整備の目標を掲げた『県土づくりプラン2021』が総仕上げとなる5年目を迎えます。宇都宮土木事務所管内では、協会の皆様とともに『産業成長を支える広域道路ネットワークの整備』や『大規模自然災害への備え』等、着実に質の高い社会資本整備を推進してまいりました。協会の皆様に感謝申し上げますとともに、プラン総仕上げに向け、引き続きご協力をお願い申し上げます。

近年、地域の守り手・造り手である建設産業は担い手不足が大きな課題となっております。当事務所といたしましても協会の皆様と連携し、小学校の総合学習支援事業等の広報活動やクリーンアップ大作戦などの社会貢献活動に参加することで、未来を担う若い世代に社会資本整備やまちづくり等に関心を持ってもらえるよう働きかけてまいります。さらには、週休二日制やＩＣＴ施工の導入を積極的に推進し、建設業の職場環境の改善に取り組み、建設業が安全でやりがいのある仕事であることを伝えていきたいと考えております。

結びに貴協会の益々のご発展と会員の皆様のご活躍を祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。

新任挨拶

人が育ち、地域が活きる未来を目指して

栃木県県土整備部　技術管理課　検査班長　鈴　木　　久

この度、栃木県県土整備部技術管理課検査班長に就任しました鈴木でございます。

宇都宮建設業協会の皆様には、日頃より地域の守り手として自然災害時の迅速かつ献身的な対応と社会資本の着実な整備促進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、技術管理課検査班は完成した工事について検査及び指導を行うことが主な業務としているところであり、品確法等を踏まえることで公共工事の品質が確保されるよう、的確な検査と公平・公正な工事成績評定の実施に引き続き取り組んで参ります。

近年、建設業を取り巻く環境が大きく変化しており、令和６年４月から建設業にも「労働基準法」の時間外労働上限規制が適用され、適切な工期を確保したうえで週休２日の推進を図り、公共工事等従事者の長時間労働の是正に向けた取り組みが求められています。

さらに、調査・測量から設計・施工・維持管理までのプロセスで建設現場の生産性向上を図るため、ＩＣＴ施工の積極的な活用、新技術の導入等、社会情勢の変化や技術の進歩に対して適応していく必要があります。

このような施策に対応するには、貴協会の皆様のご協力が不可欠なため、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに貴協会の益々の発展と会員の皆様のご活躍を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

「スーパースマートシティ」の実現を目指して

宇都宮市副市長　青　木　克　之

この度、宇都宮市副市長に就任いたしました青木でございます。

宇都宮建設業協会の皆様におかれましては、日頃から、市政運営に格別の御理解を賜り、深く感謝申し上げます。また、持続可能なまちの基盤となる「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成に向けた取組はもとより、昨年８月、９月の大雨をはじめ、災害時においても、いち早く御対応いただくなど、特段の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市におきましては、人口減少の進行をはじめとした社会経済環境が絶えず変化し続ける中にあっても、持続的に発展していけるよう、子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に、安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち「スーパースマートシティ」の実現に向け、各種施策に取り組んでいるところであります。

こうした中、令和７年度におきましては、ＪＲ宇都宮駅西側における「ライトライン」の延伸や駅前広場の整備、民間開発の促進に向けた取組など、未来への投資を積極的に行うとともに、施設の老朽化や人口減少の本格化を見据えた公共施設の計画的な維持・更新や市民生活の安心・安全を守るインフラの整備にも着実に取り組んでまいります。

本市の目指すまちづくりの実現や災害時の緊急対応等においては、貴協会の皆様のお力添えが不可欠でありますので、引き続き御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会のますますの御発展と会員の皆様の御活躍を祈念申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

「地域経済の持続的な発展」を目指して

宇都宮市理財部長　鈴　木　信　夫

この度、宇都宮市理財部長に就任いたしました鈴木でございます。

宇都宮建設業協会会員の皆様には、日頃より本市の市政運営に格別の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本市では、地域経済の持続的な発展に向け、近年の資材価格の高騰に加え、長引く物価高が家計や企業経営に与える影響を最小限に抑えるため、市民生活や事業活動の下支えとなる物価高騰対策など、事業者の経営安定や事業継続に向けた支援に取り組んでいるところであります。

さらに、スーパースマートシティを支える持続可能なまちづくりの土台となるNCCの形成に、貴協会をはじめ、様々な主体の皆様の御協力と連携のもと、本市が目指すまちづくりの実現に向けて取り組んでいるところであります。

こうした取組を着実に進めていくためには、行財政運営の基盤である市税の役割が重要でありますことから、これまで、納付しやすい環境の整備や納税意識の醸成に取り組んでいるところであり、貴協会会員の皆様におかれましては、従業員の納付意識の啓発などに御協力を賜り、心から感謝申し上げます。今後も納付環境の充実や納税者へのきめ細かな対応に取り組んでまいります。

また、入札契約制度につきましては、引き続き透明性・競争性・公正性の確保、品質の向上や円滑な施工に加え、地元企業の振興などにも配慮しながら、総合的に優れた公共工事による社会資本整備が図られるよう、適正に運用してまいります。

結びになりますが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様の更なる御活躍を祈念いたしまして、新任の挨拶とさせていただきます。

2025.2.19(水)

令和６年度建設業災害防止トップセミナー開催

令和７年２月19日に建設業労働災害防止協会栃木県支部宇都宮分会はホテルニューイタヤにて、栃木県職員・宇都宮市職員及び分会員の総勢120名出席のもと『令和６年度建設業災害防止トップセミナー』を開催しました。

このセミナーは労働災害防止に向け、その基礎となる分会員の健全な経営基盤の確立及び建設産業の置かれた状況や将来の見通しに関する正しい情報を得るために開催しています。

冒頭に野澤充広分会長から「私たち建設産業は、社会資本整備の担い手として、さらには地域の守り手としての使命を担い、市民の皆様が安心・安全に暮らせる社会づくりに向け日々取り組んでいるところであるが、この重要な使命を将来にわたり責任を持って果たしていくためには、継続的な仕事量の確保や人材の確保など、解決しなければならない多くの課題がある。最後まで熱心な聴講をお願いする。」との挨拶がありました。

講演では、土木学会第108代会長で現在は政策研究大学院大学特別教授としてご活躍されている、家田仁氏を講師としてお招きし『転機に立つインフラと建設業のこれから』について、建設産業が将来に向かって希望を持つことのできる、有意義な講話を聴講することができました。

（鈴木隆之）

政策研究大学院大学 特別教授 家田仁 氏

セミナーの様子

2025.2.9(日)

田川シダレザクラ復活祭 2025

毎年４月上旬の桜の季節に田川の押切橋から東橋の両岸では満開のシダレザクラが多くの市民を楽しませてきました。しかし、近年は立ち枯れの木も多く、植樹が行われた1991年～1995年には123本あったシダレザクラは約30年が経ち89本にまで減少しました。

宇都宮土木事務所では３か年をかけた補植を決定し、近隣住民等へ協力を呼びかけて令和７年２月９日の補植事業が決定しました。地元自治会のほか、市民団体（宮の橋・田川活性化プロジェクト実行委員会）が結成され、宇都宮商業高、宇都宮共和大、県造園建設業協会、宇都宮建設業協会等から計約80名が参加しました。

補植には３ｍほどの苗木が10本用意され、10班に編成された各班がそれぞれに作業にあたり、まだ２月上旬の寒風の中、学生さんも慣れない作業に汗を流し、１時間半ほどで作業を終えることができました。

植えたシダレザクラが順調に根を張り元気に生長して、桜のシーズンに満開に咲くよう参加者全員が同じ思いを寄せました。

（船見佳正）

宇都宮建設業青年の会

2025.6.5(木)

令和７年度通常総会

宇都宮建設業青年の会は６月５日、ホテル丸治において令和７年度通常総会を開催しました。

冒頭の挨拶で津野田会長は「令和６年度は通常事業に加え、衆議院選挙・知事選・市長選と続き、例年以上に会員の皆様にご協力いただいた年になった。また、通常事業においては、担い手確保・育成事業、若手技術者の技術向上事業を行い、今後の建設業界の発展に微力ながら貢献することができた。この実績も皆様のご協力によるものである」と感謝の言葉を述べました。

次に、卒業会員である陽西建設㈱渡邉氏の長年のご功績に対して、感謝の意を表し記念品が贈呈されました。

議事では古橋幹事長の進行のもと、事業経過並びに決算、新年度計画、予算案が原案どおり承認され、続く役員改選では増渕新会長をはじめとする新執行部が満場一致で可決されました。

新執行部を代表して増渕新会長は「働き方改革や人口減少・少子高齢化に伴う担い手不足という厳しい時代に直面しながらも、建設 DX や AI の導入により、青年の会は担い手育成事業・地域貢献事業・建設業 PR 事業の三本柱を掲げ、“魅せる建設業”を次世代へ継承すべく、未来の建設業の担い手創出の一助となるよう会員相互が連携し当会を盛り立てていく所存である」と述べ、会員一同の結束を促しました。（轟　昂洋）

令和７年度　宇都宮建設業青年の会　役員名簿

会長	増渕勝明	[㈱増渕組]
副会長	中島崇	[ミユキ建設㈱]
幹事長兼会計幹事	古橋和樹	[古橋土建㈱]
幹事	小出高幸	[高全工業㈲]
同	福田嘉貴	[㈱興建]
会計監査	菊池祥一	[山本建設㈱]
同	津野田哲	[㈱津野田土木]

計 19 名

宇都宮建設業青年の会

2025.2.27(木)

宇都宮工業高校出前講座

宇都宮建設業青年の会は２月 27 日、宇都宮工業高校の環境土木科と建築デザイン科の２年生約 80 人を対象に出前講座を実施しました。

環境土木科は、鬼怒川に架かる板戸大橋の下部工建設工事を見学しました。宇都宮土木事務所から事業についての説明をいただいた後、現場では施工各社の協力により施工状況や VR、ドローン等を用いた現場管理の最新技術に触れてもらうことができました。午後は若手技術者との座談会を行いました。参加した技術者は 10 ～ 20 代と生徒さんたちと年齢も近く、笑い声も聞こえる有意義な座談会となりました。

建築デザイン科はカンセキスタジアムを見学し、その後スタジアム内にて若手技術者との座談会を行いました。この出前講座を通じて、一人でも多くの方が地元建設業への就業に意識を向けてもらえればうれしいです。

（清水一樹）

下部工の現場見学（土木科）

カンセキスタジアム見学（建築科）

一般国道408号宇都宮高根沢バイパス 野高谷立体が供用開始

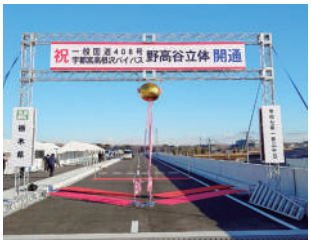
令和７年１月 30 日、一般国道 408 号宇都宮高根沢バイパス野高谷立体が供用開始されました。

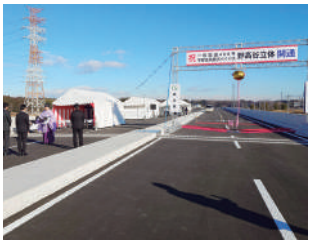
県産業技術センターで行われた開通式では、福田富一知事が式辞を述べたあと、高橋克法国交副大臣、船田元衆議院議員、上野通子参議院議員、佐藤栄一市長らが渋滞解消による地域産業の活性化に期待を込めた祝辞を述べました。

その後、お囃子の演奏の中、福田富一知事がドライバーを担当した、宇都宮工業高校の生徒が製作したフォーミュラカーを先頭に通り初めが行われ、供用開始となりました。

宇都宮建設業協会と工事安全協議会は、朝８時 30 分より地元・三祖神社の宮司による交通安全祈願祭を主催し、無事に工事が完成したことへの感謝と、通行する皆様の安全を祈念しました。　（荒井　学）

日刊建設新聞提供





宇建協会員の皆様の安全・安心をお手伝いします

■ 山本損保　プロ保険サービス

〒320-0056　宇都宮市戸祭２-11-39（文星女子高交差点角）
TEL：028-625-5555　FAX：028-624-9630

編集後記

新緑が鮮やかで美しい季節になりました。

春先から暑い日が続いていてこれから来る夏への対策を早めに取らなければと考えております。

今年は 2005 年に開催された「愛・地球博」に続き、大阪で 20 年ぶりに国際博覧会が開催されています。最先端技術など境の知識、新たな技術で日常生活が便利になる未来への道のり。シンボル建築物の大屋根リングは個人的にとても興味があります。交通空間でありながら、日差しや雨風を遮る造りになっているそうです。

建設業界でも日々技術の進歩、生産性向上のための ICT 導入などを学べる機会になるのではないでしょうか。長引く人手不足、高年齢化、地域のインフラを守る建設業界の今後の発展のために若手の人材確保、育成、労働環境の整備など、より一層見直すタイミングにきているのかもしれません。

我々は変わらず尽力し続ける次第です。

（雫　謙一）

けんせつ 宇都宮

■1981年７月創刊
■2025年６月25日発行
■発　行：一般社団法人宇都宮建設業協会
■会　長：野澤　充広
■編　集：総務委員長　渡辺　眞幸
■ＴＥＬ：028－636－5221
■ＵＲＬ：https://ukenkyo.org/
■E-mail：ukenkyo@ukenkyo.org
■印刷所：藤崎印刷株式会社
■ＴＥＬ：028－633－4530
■E-mail：fff@olive.ocn.ne.jp